

耕作放棄地を活用した無農薬ラベンダー栽培から生まれる元気な未来

田園資源 + 福祉 + 保健・医療 + エネルギー・環境 + 交流

・新潟ラベンダー物語

<取り組みの概要>

- ◆ 耕作放棄地にラベンダーを植え栽培することで、農地として再生し、ラベンダー収穫体験を通じて、人々に交流の場を提供。
- ◆ ラベンダーの花の部分のみを蒸留し、新潟市産の希少な「無農薬ラベンダー精油（エッセンシャルオイル）」を製造。アロマを活用した市民向け健康講座を開催。
- ◆ 畑の維持管理（草とり）や製品のデザイン等で、障がい者施設とも連携している。

<取り組みの効果>

- ◆ 耕作放棄地をラベンダー畑に変えることで地域の景観維持・向上に貢献している。
- ◆ 当初は100株から始めたラベンダー栽培も、農地、公園、複数の障がい者施設などで園芸福祉活動が広がり、現在では新潟市内で約700株、長岡市内で約600株に規模を拡大した。
- ◆ うつ病やアスペルガー等の精神に障がいのある方々に、ラベンダーの収穫体験や製品づくりに参加してもらうことで、アロマテラピー効果と相まって、心身の健康と楽しみを得る機会を提供することができた。
- ◆ 自社製品（新潟ラベンダー精油とアロマストーンセット）が『ふるさと新潟市応援寄付金』返礼品に選定された。
- ◆ 環境省 第7回グッドライフアワード『環境と福祉賞』受賞

<新潟ラベンダー物語 >

- ◆ 概要：新潟市江南区の農地にてラベンダーを栽培し、その普及を目指し活動している団体。「人と人を、心と心をつなぐ新潟ラベンダー物語」を掲げ、人づくり・地域づくり活動を行っています。摘み取った花の部分のみを選別・蒸留し、新潟ラベンダー精油（エッセンシャルオイル）として販売しているほか、様々なラベンダーを活用した商品を販売しています。
- ◆ ホームページ：<https://linktr.ee/lavenderstory>

<取り組みに至った経緯>

- ◆ ストレスからうつ病等を発症する方が増加している昨今、自然治癒力を高めるアロマテラピーや園芸活動普及の必要性を感じていた。そんな中、耕作放棄地の活用について話があり、比較的容易に栽培できるラベンダーを植えることから活動をスタートさせた。

<今後の展望>

- ◆ ラベンダーを活用したこの取り組みを多くの人に知ってもらい、活動の輪を広げ、更なる地域の景観向上に繋げていきたい。
- ◆ 品質の高い『新潟ラベンダー精油』を製造し、ブランド力を高め、新潟市の魅力とともに発信していきたい。

<取り組む際に生じた課題と対応方法>

- ◆ 参加者の定着が一番の課題。ラベンダーの摘み取りも「作業感」を感じさせてしまうと途端に楽しくなくなってしまうため、参加してもらう皆さんが「楽しい！」と感じ、交流できる場所づくりを心掛けている。

<活用した支援施策>

- ◆ ふるさと新潟市応援寄付金（ふるさと納税）返礼品選定
※期間：2021年(令和3年)4月1日～2023年(令和5年)3月31日

